

## 環境衛生学

|              |                 |        |          |
|--------------|-----------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 衛生化学講座 名取 泰博 教授 |        |          |
| 担当講座・学科(分野)  | 衛生化学講座          |        |          |
| 対象学年         | 2               | 区分・時間数 | 講義 18 時間 |
| 期 間          | 後期              |        |          |
| 単 位 数        | 1 単位            |        |          |

### ・学習方針（講義概要等）

ヒトが健康に生きて行くためには、ヒトを取り巻く環境が生命の生存に適した状態でなければならない。一方、ヒトが生活し、生産活動を行って行くことは、環境に大きな影響を与える。本講義では、地球レベルの環境問題、飲料水や下水処理などの水環境、大気汚染、室内環境汚染、さらには環境汚染に重大な影響を及ぼす廃棄物や化学物質の排出について学ぶ。これらを通して、薬剤師として理解しておくべき環境問題の基本的事項や、その考え方を理解し、生活環境の維持管理の基本を習得することを目指す。

### ・一般目標（GIO）

ヒトをとりまく生態系や、水環境、空気環境などの生活環境の重要性を理解し、地球レベルの環境問題や、環境汚染の現状とその対策について習得する。

### ・到達目標（SBO）

1. 地球規模の環境問題について概説できる。
2. 水の浄化法とその問題点について説明できる。
3. 水質汚濁の主な指標、下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。
4. 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。
5. 大気汚染物質の測定法と、ヒトの健康への影響について説明できる。
6. 室内環境を評価するための代表的な指標を挙げ、その測定法を説明できる。
7. 室内環境と健康との関係について説明できる。
8. 廃棄物の種類を列挙し、それらが適切に処理されるための仕組みを説明できる。
9. PRTR 法について概説できる。
10. 環境保全のための法規制について説明できる。

### ・講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

| 月日   | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員     | 講義内容        |
|------|----|----|--------|----------|-------------|
| 9/12 | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 概論、地球の中の生態系 |
| 9/17 | 水  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 地球レベルの環境問題  |
| 9/19 | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 水の浄化法       |

| 月日    | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員     | 講義内容             |
|-------|----|----|--------|----------|------------------|
| 9/24  | 水  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 水の塩素消毒           |
| 9/26  | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 下水処理および排水処理      |
| 10/3  | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 水質汚濁の原因と主な指標     |
| 10/8  | 水  | 3  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 大気環境（1）          |
| 10/10 | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 中間試験             |
| 11/28 | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 大気環境（2）          |
| 12/3  | 水  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 室内環境             |
| 12/5  | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 廃棄物、PRTR 法       |
| 12/12 | 金  | 4  | 衛生化学講座 | 名取 泰博 教授 | 環境保全と法的規制、全体のまとめ |

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

|   | 書籍名          | 著者名 | 発行所    | 発行年  |
|---|--------------|-----|--------|------|
| 教 | 衛生化学・上下巻（仮題） |     | 京都廣川書店 | 2014 |

・成績評価方法

定期試験の成績を中心に、中間試験、宿題等から総合的に評価する。

・予習復習のポイント

講義時に配布するプリント、宿題、教科書などを用いて復習をして下さい。